

◆商品の単価を変更しても伝票入力時に反映されない場合の対処方法

(画面例はすべて『PCA 商魂 DX』を使用しています。)

商品の登録から単価を変更したにもかかわらず、伝票を入力すると古い単価が出てきてしまう場合は、単価に代入される内容が「適用売価」の設定になっていない可能性があります。

以下の内容を確認していただき、変更してください。

プログラムの初期値では単価に代入される内容が「前回売価」になっています。

この設定は見積・受注・売上の各伝票入力にありますので、必要に応じて設定を変更してください。

「前回売価」=その得意先で同一商品の売上があった場合の最新の売価。

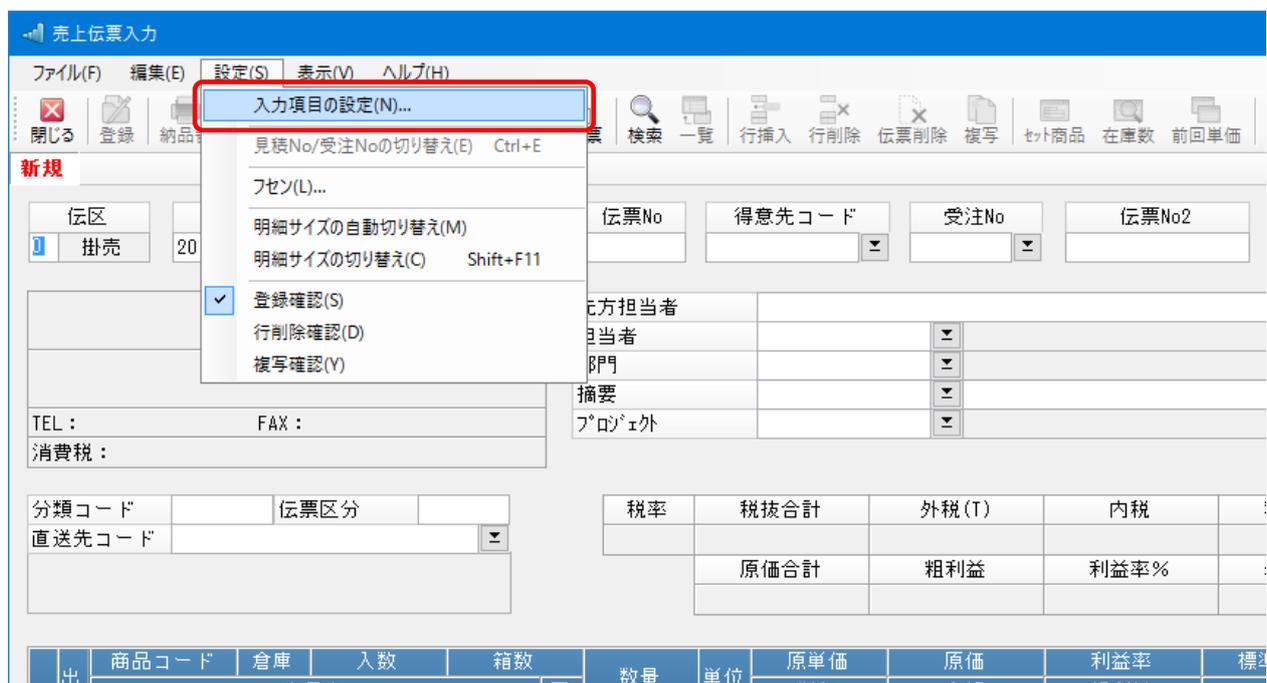
「適用売価」=「得意先別単価」で設定した単価、または「得意先の登録」で得意先別に設定した「適用売価 No.」と「掛率」から求めた売価。

【参 考】

「前準備」―「単価設定」で「期間単価」や「数量別単価」などを設定されている場合は、そちらの単価が優先されます。「適用売価」に設定しているのに、商品マスターの単価が表示されない場合は「前準備」―「単価設定」をご確認ください。

【操作手順】

- ① メニューより、入力する処理の画面を開きます。
- ② 画面が開きましたら、左上の「設定」から「入力項目の設定」を開きます。
(画面例では売上傳票入力を使用しています)



③ 画面右側の「代入される内容」から、「単価」を適用売価にして「設定」をクリックします。

入力項目の設定

入力項目 1 (A)

- 伝区
- 売上日
- 請求日
- 伝票No
- 受注/見積No
- 伝票No2
- 先方担当者名
- 担当
- 部門
- 摘要
- フォント色
- 分類
- 伝票区分
- 直送先
- 商品名
- 倉庫
- 区
- 入数/箱数
- 単位
- 単価

入力項目 2 (B)

統一伝票項目の表示

- 規格・型番
- 色
- サイズ
- 売単価

計算式項目の表示

- 商品項目 1
- 商品項目 2
- 商品項目 3
- 売上項目 1
- 売上項目 2
- 売上項目 3

商品名 2 の表示

商品名 2

明細に税率を表示する (G)

原価の訂正 (I)

代入される内容 (D)

伝区	掛売
担当	主担当者
部門	主部門
商品名	前回品名
単価	適用売価
原価	前回原価
仕入単価	同一単位区分
入荷マーク	作成する
売単価	前回売価

連動入力 (E)

得意先コードを先に入力

受注/見積Noを先に入力

合計行の設定 (H)

総合計を表示する

表示行数 1

値引率入力の設定 (J)

値引対象明細行 1 行目から前行まで

値引商品の税率と同じ明細行を対象にする

設定(F5) 入力順(F6)... キャンセル ヘルプ(F1)

以上で処理は終了となりますので、再度伝票を入力して正しい単価が表示されるかをご確認ください。

【参 考】

この処理は各入力画面毎の設定になりますので、例えば見積と売上両方を入力されている場合はそれぞれの入力画面でこの処理を行ってください。